GaN 系 PCSEL への温度補償構造導入による CW 出力向上

Enhancement of CW Power of GaN-based PCSEL by Introducing Temperature **Compensation Structure**

京大院工¹,スタンレー電気² ○十鳥雅弘¹,小泉朋朗^{2,1},江本渓^{2,1},

井上卓也¹,石崎賢司¹, De Zoysa Menaka¹,野田進¹

Kyoto Univ.¹, Stanley Electric CO., LTD.², ^OMasahiro Jutori¹, Tomoaki Koizumi ^{1,2}, Kei Emoto ^{1,2}, Takuya Inoue¹, Kenji Ishizaki¹, Menaka De Zoysa¹, Susumu Noda¹

E-mail: juttori@qoe.kuee.kyoto-u.ac.jp, snoda@kuee.kyoto-u.ac.jp

【字論】フォトニック結晶レーザー(PCSEL)は、活性層近傍に配置したフォトニック結晶をレ ーザー共振器として用いる,高出力・高ビーム品質の両立が可能な光源であり¹⁾,加工用レーザー 光源,センシング用光源等として期待されている. GaN 系 PCSEL は 2008 年の電流注入によるレ ーザー発振が実証されて以来²⁾,デバイスの作製技術と構造設計の改良によりパルス駆動時の光 出力を 2W 級 3,4)にまで向上させ、CW 駆動への展開も行い、高輝度動作(~320mW, M2~1)の 実現にも成功している⁴. さらに,前回,GaN 系 PCSEL の CW 駆動における温度分布に伴う屈折 率分布を打ち消す温度補償構造 5の導入の提案および、その効果についての初期検討を行った 9. その後,引き続き,検討・評価を進め,温度補償構造の導入による CW 出力の向上の実現に成功 したので、その内容を今回報告する.

【実験】GaN 系 PCSEL は, n-GaN 基板上に, n-AlGaN クラッド層, n-GaN 光ガイド層, フォトニ ック結晶層,活性層,p側光ガイド層,電子ブロック層,p-AlGaN クラッド層で構成される.p-電 極は、高反射電極である ITO/Ag 電極⁷⁾を用い、基板裏面にリング形状 n-電極を配置している.フ オトニック結晶には、有限要素法によりフォトニック結晶層付近の面内温度分布を見積もり、そ れを基に温度補償構造を導入した.図1示すように、作製したデバイスをヒートシンクに実装し た後、共振器領域内のフォトニック結晶のバント端周波数の空間分布を測定して、温度補償構造 が実現出来ていることを確認しつつ、CW動作の評価を行った. ヒートシンク温度 20℃のもとで

CW 発振時の光出力特性を評価した結果を図 2(a)に 示す. 同図には、比較のためにパルス駆動時の特性 も合わせて示している.また、図2(b)には補償構造 を導入していないデバイスの特性も示している.図 2 より、どちらのデバイスもパルス動作時の発振閾 値電流 In は同程度であるが、CW 動作させた場合に は温度補償構造を導入しない場合には Ith が大きく 増大しているのに対し,温度補償を導入した場合で はパルス動作時と同じ Ith(~1.8A)での発振が確認さ れた.これは、温度補償効果によって、CW 駆動時 の温度分布に伴う共振器の面内損失が抑えられて いるためだと考えられる. その結果, 図 2(a)のよう に, 温度補償構造を導入したデバイスにおいては 0.6WのCW出力を得ることに成功した.これは, 世界最高の面発光 CW 出力であると言える.【謝辞】 本研究の一部は, SIP の支援を受けた. 【文献】1) M. Imada et al., Appl. Phys. Lett. 75, 316 (1999). 2) H. Matsubara et al., Science 319, 445 (2008). 3) 廣瀬 他, 応 物春, 25p-E303-12 (2022). 4) K. Emoto, et al, Communications. Materials 3, 72 (2022). 5) S. Katsuno, et. al, Opt. Express. 29, 25118 (2021). 6) 十鳥 他, 応物秋, 21p-A101-7 (2022). 7)江本 他, 応物秋, 12a-N321-10 (2021).



Sub-mount on heatsink

図1: GaN-PCSEL実装後の写真

